



最新技術で水路を点検

- 山口国道維持出張所では皆様が安全・安心に道路を通行できるよう定期的に道路構造物(橋梁、トンネルなど)の点検を行い、異常の早期把握・対策に努めています。
- 点検が困難な小規模な水路等については、360度カメラを搭載した水面ドローンなどの最新技術を使用して点検を行っています。

最新技術を用いた点検

水面ドローンを使用した橋梁点検

内部が狭い水路になっている小規模橋梁では、点検員が中に入っていくことが困難なほか、視認可能な範囲も限定されるため、状態確認作業が疎かになりがちです。

そのため、点検支援技術の水面ドローンを活用して、位置情報やスケールをもった画像データを解析することで、点検員による直接確認と同等の精度で確認作業を実施しました。



近接目視による点検状況（従来）



水面ドローンによる点検状況



位置情報やスケールをもった画像データ

水面ドローン

狭い水路等を点検するため、フロートを装着したドローン。移動は、プロペラの推力により水面をアメンボのように移動します。

また、写真のように閉鎖された空間では、GPSによる位置情報を取得できないため、予め設置しておいたスケールを本体上部の360度カメラで撮影して、取得した画像を解析する際に、スケールの値を読むことで位置情報を取得します。

さらに、画面上にはクラックスケールがあり、任意のポイントにクラックスケールを移動することで、クラックの幅を読み取るなど、これまで人の手で行ってきた作業を省力化しました。

